

エコアクション21

環境経営レポート

(レポート No.15)



活動年度 2023 年度

活動期間 2023 年 1 月～2023 年 12 月

作成日 2024 年 3 月 1 日

株式会社 ビオトープ設備システム

徳島県吉野川市山川町前川75—15

電話 0883-42-6789 (代)

㈱バイオトープ設備システムのSDGsへの取り組み

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、エコアクション21の活動を通じて、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。



当社が対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲			
SDGs No	開発目標（GOALS）	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道利用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公平をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

① 組織の概要

1. 事業所及び代表者

株式会社 ビオトープ設備システム （株式会社ビオトープから社名変更 2015. 6. 1付）
代表取締役 奥屋敷孝幸

2. 所在地

事務所 〒779-3403 徳島県吉野川市山川町前川75-15
資材倉庫 〒779-3403 徳島県吉野川市山川町前川54-1

3. 環境管理責任者連絡先

住友 愛 TEL 0883-42-6789(代) FAX 0883-42-6808
E-mail biotope@s6.dion.ne.jp

4. 事業の内容

給排水衛生設備工事、消火設備工事、空調設備工事、その他管工事
徳島県知事許可(般-27)第77091号
電気工事業、管工事業、水道施設工事業、消防施設工事業

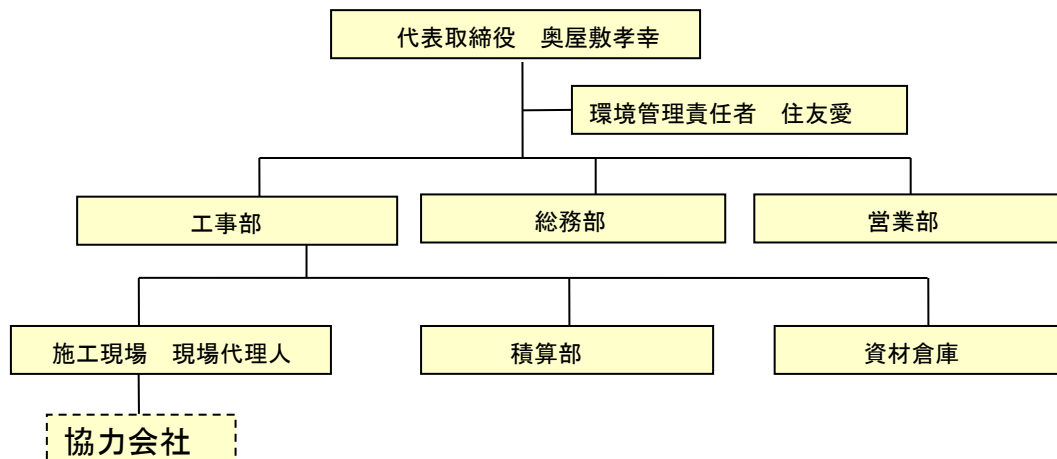
5. 事業の規模

資本金 800万円
年商 660百万円 （2023年度）
従業員 12 名(内パート 0名)
敷地面積 事務所 120m² 資材倉庫 800m²
建屋床面積 事務所 165m² 資材倉庫 300m²
事業期間 1月1日 ～ 12月31日
設立 2003年 12月

6. 環境関連の法規に関する有資格技術者

管工事施工管理技士	3 名
電気工事管理技士	3 名
消防設備士	2 名
給水装置主任技術者	2 名

7. 環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営システムの実施に必要な人や資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書・環境経営レポートを承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の管理 ・環境経営目標・環境経営計画書を作成。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境負荷の自己チェック・環境への取組の自己チェックの実施 ・環境関連法規等取りまとめと遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知及び教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・緊急事態への対応と防災訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
現場代理人	・施工現場における環境経営方針の周知 ・施工現場の従業員・協力業者に対する教育訓練の実施 ・施工現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

② 認証・登録範囲

(株)ビオトープ設備システムの全組織（事務所・資材倉庫及び施工現場）における、全事業活動を対象とする。

③ 環境経営方針

(株)ビオトープ設備システムの環境経営方針

<経営理念>

株式会社ビオトープ設備システムは、社会基盤整備の推進に必要な給排水設備工事及びその他設備の施工に当たって、地球環境の保全を重要な課題であると認識し、社員一丸となり事業活動のあらゆる面で積極的に環境経営活動に取り組んでいきます。

<環境経営の行動指針>

1. 次の重点事項について環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ・電力(事務所)
 - ・自動車燃料(営業車、トラック)
 - ② 廃棄物の削減(循環型社会への対応)
 - ・一般廃棄物(新聞、雑誌、ダンボール、可燃ごみ)
 - ・産業廃棄物(廃プラスチック類)
 - ③ 排水量の削減(水資源の保全)
 - ・節水への取組
 - ④ 社会貢献
 - ・環境配慮への取組
 - ・地域での環境活動への積極的な参加
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 全社員に環境に関しての教育を行い、環境経営の意識を高めます。
4. 環境に配慮した工法・作業を推進します。
5. 環境への取り組みを「環境経営レポート」としてとりまとめ公表します。
6. 当社の環境経営方針は、全ての従業員に周知します。

制定2011年11月 1日

改訂2019年 1月 1日

株式会社ビオトープ設備システム

代表取締役 奥屋 敷孝幸

④ 環境経営目標の設定

対象	項目	環境負荷項目	単位	目標基準	2023年度目標		2024年度目標		2025年度目標	
事業所	二酸化炭素排出量	電気使用量	kWh	10,440	10,388	-0.5%	10,336	-1.0%	10,283	-1.5%
			Kg-CO2	5,565	5,537	〃	5,509	〃	5,481	〃
		ガソリン使用量	リッター	11,020	10,965	-0.5%	10,910	-1.0%	10,855	-1.5%
			Kg-CO2	25,566	25,439	〃	25,311	〃	25,184	〃
		軽油使用量	リッター	3,860	3,841	-0.5%	3,821	-1.0%	3,802	-1.5%
			Kg-CO2	10,113	10,063	〃	10,011	〃	9,961	〃
	CO2総排出量	Kg-CO2	41,244	41,039	-0.5%	40,831	-1.0%	40,626	-1.5%	
	水使用量	m3	24	24	±0	24	±0	24	±0	
	一般廃棄物排出量	t	1.4	1.4	±0	1.4	±0	1.4	±0	
施工現場	産業廃棄物排出量	ガラス・陶磁器くず(最終処分)	t	1.5	1.5	0	1.5	0	1.5	0
		廃プラスチック類(最終処分)	t	15.0	15.0	0	15.0	0	15.0	0
		コンクリート塊(再資源)	t	0	0	0	0	0	0	0
		アスファルト塊(再資源)	t	0	0	0	0	0	0	0
		木くず(再資源)	t	2.5	2.5	0	2.5	0	2.5	0
		金属くず(再資源)	t	0	0	0	0	0	0	0
		リサイクル率	%	13%	13%	—	13%	—	13%	—
公共工事の受注		件数	10	10	—	10	—	10	—	
環境配慮工法・作業		件数	10	10	—	10	—	10	—	
地域環境活動参加		件数	5	5	—	5	—	5	—	
売上高(概算)		百万円	430	—	—	—	—	—	—	
売上百万円当たりCO2量(Kg-CO2)			96	—	—	—	—	—	—	
社長 評価及び指示			環境経営方針を全社員が自覚すること							
・2023年度から年度目標は、目標基準を2021年、2022年の実績の平均として見直した。										

⑤ 環境経営計画の内容

対象	環境方針	取組計画	取組責任者	取組手段(赤字は重点取組)
事務所	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量削減	環境管理責任者	・エアコン温度設定(冷房26~28度) ・冷暖房機のフィルター掃除(シーズン前に実施) ・不要照明の消灯及び夜間休日の事務機主電源OFF
		燃料使用量削減	工事部長	・エコドライブの徹底(エコ運転、アイドリングストップ、適正タイヤ圧、不要荷物対策等) ・燃料使用量の把握(グラフ化)
	水使用量の削減	水使用量の削減	環境管理責任者	・水の出し放し禁止 ・水道管からの漏水に注意
	一般廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	環境管理責任者	・OA用紙裏面の使用 ・一般ゴミの分別化 ・ダンボールの発生抑制
施工現場	二酸化炭素排出量の削減	燃料使用量削減	工事部長	・エコドライブの徹底(エコ運転、アイドリングストップ等) ・燃料使用量の把握し、朝礼で取組徹底
	産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	工事部長	・廃プラスチック類の削減 廃プラ処理業者のルート確認 ・産業廃棄物分別の徹底
	環境配慮工法・作業	環境配慮工法採用	工事部長	・環境配慮工法・作業への積極的な取り組み指導(朝礼) ・EA21ガイドラインについて勉強会実施
	公共工事受注	受注拡大	営業部長	・公共工事の受注活動強化
	地域環境活動への参加	地域活動へ参加	工事部長	・アプト事業、レッツ・クリーン、カーブミラー清掃等の活動へ参加、除草作業

⑥ 環境活動のスケジュール

NO	実施事項	関連文書	責任者	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-3月
1	環境経営目標管理表作成	BT-151	環境管理責任者	▶												
2	環境経営計画作成	BT-152	環境管理責任者	▶												
3	教育訓練(社員・幹部・関係者)	BT-2100	環境管理責任者	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
4	緊急事対応策の定期テスト	BT-210	工事部長									▶	▶	▶	▶	
5	地域環境活動(道路の清掃等)参加		工事部長	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
6	環境改善報告書作成	BT-381	各部門長	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	
7	法規制等内容一覧表の確認	BT-141	環境管理責任者													▶
8	環境経営レビューの実施	BT-413	環境管理責任者													▶▶▶▶▶
9	環境経営レポート作成	BT-2100	環境管理責任者													▶▶
10	次年度環境改善活動計画		環境管理責任者													▶▶▶▶▶
11	EA21審査申請		環境管理責任者													▶▶

⑦ 環境経営目標の実績

対象	項目	環境負荷項目	単位	目標基準	2023年度目標		年度実績		年度末 評価(○良好)	取組責任者
							年度合計	目標比		
事務所	二酸化炭素排出量	電気使用量	kWh	10,440	10,388	-0.5%	10,333	-0.5%	○目標達成	環境管理責任者
			Kg-CO2	5,565	5,537	〃	5,508	〃		
		ガソリン使用量	リッター	11,020	10,965	-0.5%	11,950	+9.0%	△目標未達 業務多忙	工事部長
			Kg-CO2	25,566	25,439	〃	27,724	〃		
		軽油使用量	リッター	3,860	3,841	-0.5%	3,959	+3.1%	△重機業務多忙	工事部長
			Kg-CO2	10,113	10,063	〃	10,373	〃		
		CO2総排出量	Kg-CO2	41,244	41,039	-0.5%	43,605	+6.3%	△目標未達	環境管理責任者
			水使用量	m3	24	24	±0	24	±0	○節水継続
一般廃棄物排出量	t		1.4	1.4	±0	1.28	-8.6%	○目標達成	環境管理責任者	
施工現場	産業廃棄物排出量	ガラス・陶磁器くず(最終処分)	t	1.5	1.5	0	3.00		×	工事部長
		廃プラスチック類(最終処分)	t	15.0	15.0	0	15.75		×	工事部長
		コンクリート塊(再資源)	t	0	0	0				工事部長
		アスファルト塊(再資源)	t	0	0	0				工事部長
		木くず(再資源)	t	2.5	2.5	0	1.65		×	工事部長
		金属くず(再資源)	t	0	0	0				工事部長
		リサイクル率	%	13%	13%	—	8%		×	工事部長
		公共工事の受注	件数	10	10	—	16		○目標達成	営業部長
環境配慮工法・作業	件数	10	10	—	11		○目標達成	工事部長		
地域環境活動参加	件数	5	5	—	4		△	工事部長		
売上高(概算)	百万円	430	—	—	660		◎			
売上百万円当たりCO2量(Kg-CO2)			96	—	—	66		◎		
社長 評価及び指示			環境経営方針を全社員が自覚すること			業務多忙の中取り組み良好				
・2023年度から年度目標は、目標基準を2021年、2022年の実績の平均として見直した。										
・事務所電気はアイワ電設機と共用の為毎年按分を見直す。本年の按分比率は1/3										
・事務所水使用量は地下水でメータ設備なしの為、概算を表示する。										
・CO2排出係数 電気:0.533Kg-CO2/kwh ガソリン:2.32Kg-CO2/L										

- ・二酸化炭素排出量は、事務所電気で-0.5%と改善したが、業務多忙によりガソリン+9.0%、軽油+3.1%となり、結果 +6.3%と目標をオーバーした。
- ・売上高は創業以来最高となり、売り上げ百万円当たり CO2 量は基準年あたり-31%と改善した。

⑧ 環境経営計画の取組結果とその評価

取組内容	取組手段	取組結果	評価
電力使用量削減 (事務所)	(1) 冷暖房機 温度設定の徹底 (2) 冷暖房機のフィルター掃除 (3) 不要照明の消灯	設定温度表示済 シーズン前に実施 徹底して嫉視した。	○良好
二酸化炭素排出量	(1) 電気・ガソリン・軽油・使用量削減	取組は良好	○軽油は重機等多忙で増加
燃料使用量削減 (ガソリン車)	(1) エコドライブの徹底 (2) 燃料使用量の把握	取組を行った	○取組は良好
水使用量の削減 (事務所)	(1) 水の出し放し禁止 (2) 水道管からの漏水に注意	節水努力した	○ 節水を継続
一般廃棄物の削減 (事務所)	(1) OA用紙裏面の使用 (2) 一般ゴミの分別化 (3) シュレッダー処理紙のリサイクル化	分別に努めリサイクル を徹底した。	○良好
燃料使用量削減 (重機等の軽油)	(1) エコドライブの徹底 (2) 燃料使用量の把握	取組を行った	○取組は良好
産業廃棄物の削減 (施工現場)	(1) 廃プラスチック類の削減 (2) 廃棄物の分別の徹底	廃棄物の分別を徹底 した。	○ 分別の徹底を継続する。
環境配慮工法 (施工現場)	(1) 環境配慮工法・作業の実施	良好	○ 取組を徹底する。
公共工事受注	(1) 給排水設備工事の受注活動の推進	積極的に受注活動を行 った。	○良好
教育訓練	環境マニュアル・環境目標・環境活動計画 等に付いて幹部及び社員教育	予定の社員教育は実 施した。	○ 社員等の教育は継続する
緊急時対応定期テ スト	環境マニュアルに基づき実施	実施した。	○ 防災訓練の必要性を認識 する。
地域環境活動参加	地域環境活動参加	アドプト事業等に参画	△ 積極的参画努力する。

⑨ 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1. 次年度の環境経営目標

対象	項目	環境負荷項目	単位	目標基準	2024年度目標		2025年度目標		2026年度目標	
事業所	二酸化炭素排出量	電気使用量	kWh	10,440	10,336	-1.0%	10,283	-1.5%	10,231	-2.0%
			Kg-CO2	5,565	5,509	〃	5,481	〃	5,453	〃
		ガソリン使用量	リッター	11,020	10,910	-1.0%	10,855	-1.5%	10,800	-2.0%
			Kg-CO2	25,566	25,311	〃	25,184	〃	25,056	〃
		軽油使用量	リッター	3,860	3,821	-1.0%	3,802	-1.5%	3,783	-2.0%
			Kg-CO2	10,113	10,011	〃	9,961	〃	9,911	〃
	CO2総排出量	Kg-CO2	41,244	40,831	-1.0%	40,626	-1.5%	40,421	-2.0%	
	水使用量	m3	24	24	±0	24	±0	24	±0	
	一般廃棄物排出量	t	1.4	1.4	±0	1.4	±0	1.4	±0	
施工現場	産業廃棄物排出量	ガラス・陶磁器くず(最終処分)	t	1.5	1.5	0	1.5	0	1.5	0
		廃プラスチック類(最終処分)	t	15.0	15.0	0	15.0	0	15.0	0
		コンクリート塊(再資源)	t	0	0	0	0	0	0	0
		アスファルト塊(再資源)	t	0	0	0	0	0	0	0
		木くず(再資源)	t	2.5	2.5	0	2.5	0	2.5	0
		金属くず(再資源)	t	0	0	0	0	0	0	0
		リサイクル率	%	13%	13%	—	13%	—	13%	—
		公共工事の受注	件数	10	10	—	10	—	10	—
環境配慮工法・作業	件数	10	10	—	10	—	10	—		
地域環境活動参加	件数	5	5	—	5	—	5	—		
売上高(概算)	百万円	430	—	—	—	—	—	—		
売上百万円当たりCO2量(Kg-CO2)		96	—	—	—	—	—	—		
社長 評価及び指示		環境経営方針を全社員が自覚すること								
・目標基準は2021年、2022年の実績の平均とした。										

2. 次年度の環境経営計画

対象	環境方針	取組計画	取組責任者	取組手段(赤字は重点取組)
事務所	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量削減	環境管理責任者	・エアコン温度設定(冷房26～28度) ・冷暖房機のフィルター掃除(シーズン前に実施) ・不要照明の消灯及び夜間休日の事務機主電源OFF
		燃料使用量削減	工事部長	・エコドライブの徹底(エコ運転、アイドリングストップ、適正タイア圧、不要荷物対策等) ・燃料使用量の把握(グラフ化)
	水使用量の削減	水使用量の削減	環境管理責任者	・水の出し放し禁止 ・水道管からの漏水に注意
	一般廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	環境管理責任者	・OA用紙裏面の使用 ・一般ゴミの分別化 ・ダンボールの発生抑制
施工現場	二酸化炭素排出量の削減	燃料使用量削減	工事部長	・エコドライブの徹底(エコ運転、アイドリングストップ等) ・燃料使用量の把握し、朝礼で取組徹底
	産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	工事部長	・廃プラスチック類の削減 廃プラ処理業ルートの確認 ・産業廃棄物分別の徹底
環境配慮工法・作業		環境配慮工法採用	工事部長	・環境配慮工法・作業への積極的な取り組み指導(朝礼) ・EA21ガイドライン(35P)について勉強会実施
公共工事受注		受注拡大	営業部長	・公共工事の受注活動強化
地域環境活動への参加		地域活動へ参加	工事部長	・アプト事業、レッツ・クリーン、カープミラー清掃等の活動へ参加、除草作業

⑩ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

No	環境法規制等	条項番号	規制区分	法規制等の要求内容	資料・記録名	今期該当有無	順守状況の確認(注)	遵守状況の評価
1	建設業法	法3～24条	法令	建設業の許可、請負等の規制	—	有り	建築業の許可・請負契約・技術者の確保等遵守している。	○(良好)
2	騒音規制法	法4～15条	法令	指定建設作業の届、規制基準の順守	特定建設作業届	なし	該当業務なし。	○
3	振動規制法	法14～15条	法令	指定建設作業の届、規制基準の順守	特定建設作業届	なし	該当業務なし。	○
4	廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	法2～4条	法令	産業廃棄物保管場所の表示、マニフェストの管理	管理票(マニフェスト) 管理票に関する報告書 水銀使用産業廃棄物の記録 —	有り 有り なし 有り	産廃業者との契約締結、マニフェストの管理をしている。 報告書提出している。 該当業務なし。 保管・処理の委託・保管基準等遵守している。	○
5	建設リサイクル法	法5,9,10,16～37条	法令	特定の建設資材について分別解体及び再資源化の促進	対象建設工事届	有り	分別解体の推進と再資源化に努めている。	○
6	家電リサイクル法	法6～9条	法令	特定家庭用機器再商品化法	—	有り	対象機器を引き取ったときは確実に業者に引き渡している。	○
7	グリーン調達(グリーン購入法)	—	自主	国による環境物品等の調達の推進等に関する法律	—	有り	グリーン購入に努めている。	○
8	道路交通法	—	法令	道路交通法の順守(過積載の禁止等)	—	有り	道路交通法の遵守(過積載の禁止等)を徹底している。	○
9	浄化槽法	法1～12条	法令	保守点検・水質検査の実施	浄化槽保守点検表	なし	該当業務なし。	○
10	消防法	第3章(10～16条)	法令	危険物・可燃物の規制	—	有り	危険物・可燃物は貯蔵していない。	○
11	徳島県生活環境保全条例	全条項	条例	生活環境保全	—	有り	徳島県における環境保全条例を遵守している。	○
12	吉野川市環境保全条例	全条項	条例	環境保全と市の施策に協力	—	有り	吉野川市の施策に協力している。	○
13	フロン排出抑制法	第3章(16～18条)	法令	業務用フロン使用設備点検・整備の記録	—	有り	必要な顧客には定期的に点検を指導する。	○
14	大気汚染防止法	第18条	法令	解体等工事における石綿飛散防止	—	なし	石綿含有建材有無の事前調査を行い、発注者に説明している。	○
15	徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	19～20条	法令	脱炭素社会の実現	—	有り	温室効果ガスの排出の抑制	○
当社の事業活動に適用される環境関連法規等の違反はありませんでした。また関係当局からの違反通知、訴訟は、過去3年間にわたってもありませんでした。								

⑪ 代表者による全体評価と見直し・指示

項 目		レビューの結果
イン プ ット	① EA-21審査結果(前回)	A-1 環境配慮工法・作業のカウントを明確にするが不十分。
	② 環境経営目標達成状況	事務所電気は目標達成したが、業務多忙でガソリン・軽油が目標 オーバーし、CO2排出量は+6.3%となった。
	③ 環境経営計画の実施及び運用結果	重点取り組みが不十分であった。 SDGsへの取り組みを検討する。
	④ 環境関連法規制等の遵守状況	環境法規制等の違反はなく、遵守できた。
ア ウ ツ プ ット	⑤ 外部からの環境に関する苦情や 要望等	活動期間中は、関係機関からの違反、地域からの苦情などの 指摘事項なし。
	⑥ 是正処置及び予防処置の状況	環境改善報告書 0件
	⑦ 前回までの環境経営レビュー指示事項 の取組結果	ガソリン・軽油重機多忙でオーバーした。 公共工事受注は順調であった。。
	① 環境経営方針変更の必要性	必要性なし
	② 環境経営目標変更の必要性	必要性なし
ア ウ ツ プ ット	③ 環境経営計画変更の必要性	必要性なし
	④ 環境経営システム(環境経営マニュアル) 及び実施体制変更の必要性	変更の必要性なし
	⑤ その他指示事項	1) トラック・重機の軽油削減に努めること。 2) 環境配慮工法・作業に取り組む。 3) 公共工事受注に努める。
社長評価: 業務多忙のなか取組を評価する。		

⑫ 環境経営活動の記録写真

2023 年 4 月 カーブミラー点検・清掃



2023 年 10 月 ロードアドプト事業



以上